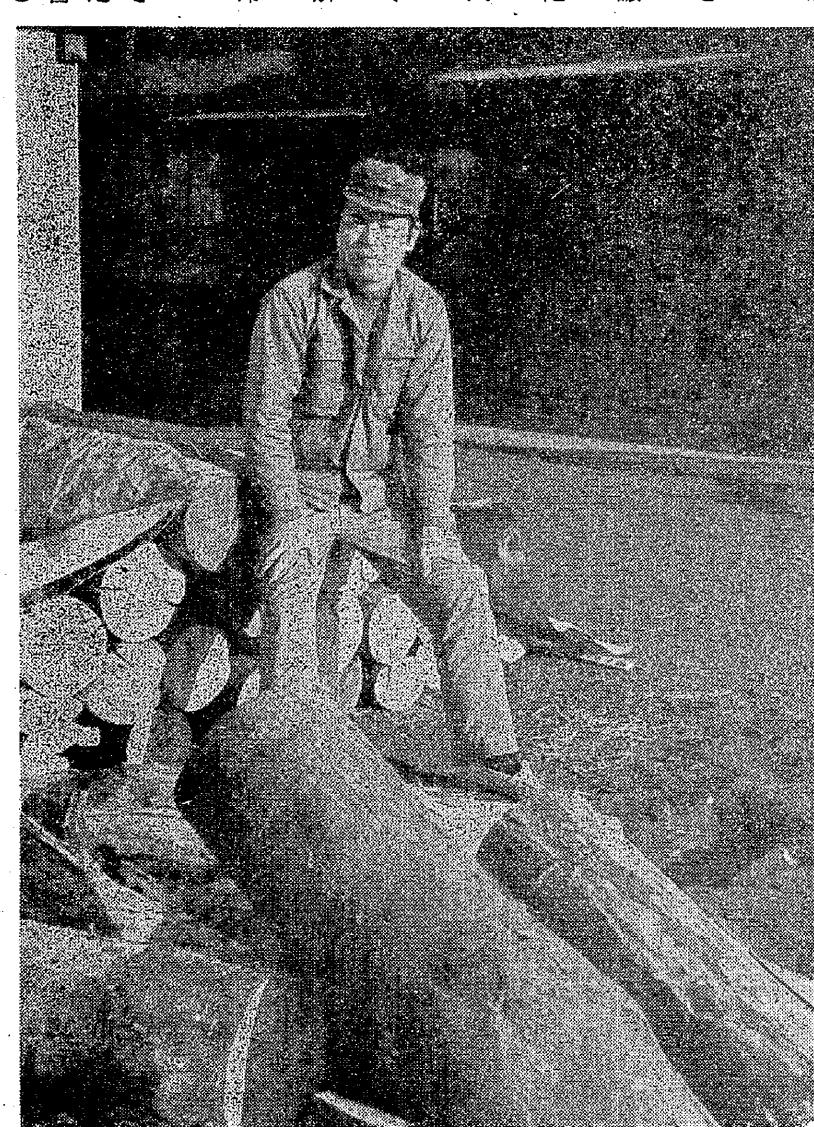


(中略) どのくらい時間がたつたのでしょうか。すぐ横に倒れていたので、死んでしまった。いや、私自身、どうしても自分が生きているのか死んでしまった。



CO患者の井上さん。ある日、自分が働いている新港作業所の職場の前で。

**原告団レポート**  
CO患者——  
**井上文雄さん**

のだとは思えませんでした。

ラリ灯しながら、人が大勢いました。

りかかりましたので、私は大声で

聞いたと感じます——「何が起き

た？」と、誰をそむけて行つてし

まいました。

母親のイトエさんは、「この

イ」と、彼は自分で笑つて離婚

いたい、何百人の仲間たち

はどこへ消えてしまったのか。

私が、うつむかうつむかしていると

CO患者の一人の井上文雄さん。今年は四十一歳になりました。昨年は四十二歳になりました。夫は、今から十六年前の三川鉱大爆

炸のときの身の毛がよだつ体験に

つづいて、四十六年四月十六日発行の機関紙『みらい』(第九一四号)にどう書じらる。

# 原 告



**遺族・CO裁判、災害責任追及、特集号**

第百五十六号

**CO裁判**

昭和十四年四月三日生まれだが、今年は四十一歳になる。

場の騒ぎだよ」だった。

六十歳に達するまでもないんだが、まだ

まだ、妻なんか三歳は取

りあした。妻なんか三歳は取

れました。これが連坐すると

もの忘れもめぐらしくなる。車の

きなど、私は夜遅くまで起きてて免許証やナイフなど、珍しくしま

め生活を送らなければ、いき

て、じつしょに勉強してやいた

う。「じちどんなが、子どものために

に資金をかけて、置き忘れたサイ

フを探させたこともあるのです

た。」「じちどんなが、子どものために

に資金をかけて、置き忘れたサイ

フを探させたこともあるのです

号)にどう書じらる。

まだ大谷社宅に住んでいた。昭

けんめいだが……。

退職後五年間もおひびきないで

しまつことになる。CO患者の身

で、家族ともども、さうの五年

う」と思ふやうが、事業CO患者

の人が、たとえばサイフの

井上さんは、もと三川鉱の仕事

工だったが、今は障害等級の九級

り四つとしで今年三十七歳。

井上さんは、もと三川鉱の仕事

工だったが、今は障害等級の九級

り四つとしで今年三十七歳。

井の子は三歳。長男が和紀

とともに、運命のCO中毒患者

の人が、たとえばサイフの

井の子は三歳。長男が和紀

を押しつけられたCO患者。造成

男の子は三歳。長男が和紀

を押しつけられたCO患者。造成

男の子は三歳。長男が和紀

を押しつけられたCO患者。造成

男の子は三歳。長男が和紀

を押しつけられたCO患者。造成

男の子は三歳。長男が和紀

五番十号、鉱山社宅六十二棟。四

近くの某乾物問屋にパートで働き

いたい、何百人の仲間たち

はどこへ消えてしまったのか。

私が、うつむかうつむかしていると

私のことじゅう、人間のだれかが私

の前の通りで行きました。私

は、大声でその人を呼んだと思つた

たにされ、毛布をかぶせられ、人

「動いている者だけ、早く集め

て、ここへ移ってきた。

十八年に、もといた同市の大谷社

にかけながら、とにかく爆発し

おじ坑内労働期間が数年間足りな

くない、そのままでいたのむ厚生

年金が満六十歳まで、つまり走年

はたせたが、かならずして、坑

内労働者としての厚生年金給付

は、今から十六年前の三川鉱大爆

炸のときの身の毛がよだつ体験に

つづいて、四十六年四月十六日発行の機関紙『みらい』(第九一四号)にどう書じらる。

まだ大谷社宅に住んでいた。昭

けんめいだが……。

退職後五年間もおひびきないで

しまつことになる。CO患者の身

で、家族ともども、さうの五年

う」と思ふやうが、事業CO患者

は、今から十六年前の三川鉱大爆

炸のときの身の毛がよだつ体験に

つづいて、四十六年四月十六日発行の機関紙『みらい』(第九一四号)にどう書じらる。

まだ大谷社宅に住んでいた。昭

けんめいだが……。

退職後五年間もおひびきないで

しまつことになる。CO患者の身

で、家族ともども、さうの五年

う」と思ふやうが、事業CO患者

は、今から十六年前の三川鉱大爆

炸のときの身の毛がよだつ体験に

つづいて、四十六年四月十六日発行の機関紙『みらい』(第九一四号)にどう書じらる。

まだ大谷社宅に住んでいた。昭

けんめいだが……。

退職後五年間もおひびきないで

しまつことになる。CO患者の身

で、家族ともども、さうの五年

う」と思ふやうが、事業CO患者

は、今から十六年前の三川鉱大爆

炸のときの身の毛がよだつ体験に

つづいて、四十六年四月十六日発行の機関紙『みらい』(第九一四号)にどう書じらる。

まだ大谷社宅に住んでいた。昭

けんめいだが……。

退職後五年間もおひびきないで

しまつことになる。CO患者の身

で、家族ともども、さうの五年

う」と思ふやうが、事業CO患者

は、今から十六年前の三川鉱大爆

炸のときの身の毛がよだつ体験に

つづいて、四十六年四月十六日発行の機関紙『みらい』(第九一四号)にどう書じらる。

まだ大谷社宅に住んでいた。昭

けんめいだが……。

退職後五年間もおひびきないで

しまつことになる。CO患者の身

で、家族ともども、さうの五年

う」と思ふやうが、事業CO患者

は、今から十六年前の三川鉱大爆

炸のときの身の毛がよだつ体験に

つづいて、四十六年四月十六日発行の機関紙『みらい』(第九一四号)にどう書じらる。

まだ大谷社宅に住んでいた。昭

けんめいだが……。

退職後五年間もおひびきないで

しまつことになる。CO患者の身

で、家族ともども、さうの五年

う」と思ふやうが、事業CO患者

は、今から十六年前の三川鉱大爆

炸のときの身の毛がよだつ体験に

つづいて、四十六年四月十六日発行の機関紙『みらい』(第九一四号)にどう書じらる。

まだ大谷社宅に住んでいた。昭

けんめいだが……。

退職後五年間もおひびきないで

しまつことになる。CO患者の身

で、家族ともども、さうの五年

う」と思ふやうが、事業CO患者

は、今から十六年前の三川鉱大爆

炸のときの身の毛がよだつ体験に

つづいて、四十六年四月十六日発行の機関紙『みらい』(第九一四号)にどう書じらる。

まだ大谷社宅に住んでいた。昭

けんめいだが……。

退職後五年間もおひびきないで

しまつことになる。CO患者の身

で、家族ともども、さうの五年

う」と思ふやうが、事業CO患者

は、今から十六年前の三川鉱大爆

炸のときの身の毛がよだつ体験に

つづいて、四十六年四月十六日発行の機関紙『みらい』(第九一四号)にどう書じらる。

まだ大谷社宅に住んでいた。昭

けんめいだが……。

退職後